

伝承館の全体スケジュール及び各事業等の進捗について

R2. 7. 17 生涯学習課

＜全体スケジュール＞※秋の開館及びR2事業実施に係る主なもの

	2020年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
運営	4/1指定管理開始 6/18事務所移転			
建設工事	→ 6/10竣工			
展示製作	-----→ 9/18完了予定			
収集・保存		→ 実物展示資料移転完了		→ 仮保管庫からの移転
調査・研究	→ 調査研究計画	→ 研究員（常勤）募集		→
研修（一般）			→ 一般研修開始	→
研修（専門）			→ モニター専門研修実施	→
語り部	語り部募集・確保・トレーニング		→ 語り部活動開始	→



開館（日程調整中）

1 伝承館の運営

- ・ R2. 4～福島イノベーション・コースト構想推進機構による指定管理開始
- ・ 高村昇館長を始め、上級研究員、事務職員、学芸員、展示アテンダント等、計24名の体制で、秋の開館に向けた準備を進めている。

2 施設整備

- ・ 建設工事は予定どおり竣工。6月10日に引き渡しを受け、同月中旬より伝承館内で業務開始。
- ・ 展示製作は、新型コロナの影響により工期を9月18日まで延長。

3 主要4事業の取組状況等

(1) 収集・保存事業

- ・ 令和2年度は、これまで収集した資料を段階的に伝承館に移転。
実物展示する資料は、展示製作に併せて移転し、展示エリアに設置。
その他の資料は、2021年2月末までに収蔵庫に移転し、保存管理を開始。
- ・ 計画的な資料収集を継続するとともに、データベースの管理を行う。

(2) 調査・研究事業

- ・ 館長及び上級研究員とともに調査・研究事業計画の検討を進めている。
- ・ これまでの福島における災害発生の対応、復旧・復興に係る経験と記録を体系化し、教訓を抽出するとともに様々な手法で情報発信を行うことで、復興及び防災を担う人材の育成を図る。
- ・ R3からの事業開始に向けて、今年度中に研究員（常勤）の確保を図る。

(3) 展示・プレゼンテーション事業

①展示エリア

- ・本検討委員会での検討を経て、8月に展示内容等を決定、公表予定。
- ・展示製作は9/18に完了予定。
- ・秋の開館を見据え、展示アテンダントのトレーニングを実施中。

②語り部

- ・伝承館で活動する語り部の募集を実施。31名の語り部を登録。
- ・現在、語り部のトレーニングを実施中。
- ・開館に合わせて館内での語り部活動（定期公演）を開始予定。

(4) 研修事業

①一般研修（児童・生徒、一般団体等向け）

- ・伝承館の展示や現地性を活かし、震災や原発事故、福島が復興する姿などを総合的に学ぶことができる研修を実施する。
- ・「展示見学」、「フィールドワーク」、「被災体験の講演」、「ワークショップ」で構成されるパッケージ研修の実施に向け、具体の検討を進めている。
- ・開館後、できるだけ早期の研修実施を目指し、準備を進めている。

②専門研修（自治体、企業等向け）

- ・伝承館の資料や調査研究事業の成果等を活かして、自治体職員や医療関係者など復興や防災に関連する専門的な人材に対する研修を実施する。
- ・今年度は、R3からの事業開始に向けて、上級研究員とともにモニター研修を実施し、ニーズの把握や研修内容の充実を図る。

4 利用促進に向けた取組状況等

- ・指定管理者（イノベ機構・伝承館スタッフ）と連携して、旅行代理店、関係機関等に対する周知、広報活動を実施中。
- ・新型コロナの影響を踏まえ、特に県内の学校に対する利用促進を図る。
 - ・県内の学校に対する貸切バス代補助
 - ・県内外の学校の児童・生徒に対する入館料補助
- ・来年度以降の修学旅行誘致を目指し、観光部局と連携した広報・誘致に取り組む。